

# 令和2(2020)年度

## 東京大学大学院理学系研究科博士課程学生募集要項

### 教育研究上の目的

自然界の真理の根源的理解に向けて、知を創造し、発展させ、それを継承することを教育研究の不変の目的として定める。学究の徒に対して理学の理念と方法論を教授することで、高度な専門力、広範な俯瞰力、卓越した創造性と国際性、未知の問題を発掘し解決する能力を兼ね備えた、次代を牽引する人材を養成する。

※詳細は下記を参照

<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/graduate01.html>

### 求める学生像

- ・ 専門分野における修士相当の基礎学力と研究能力をもち、自然現象に通底する普遍性をとらえる理学的な思考法、未知の現象の核心に迫る方法論、論理的で明晰な分析力、などを習得することに意欲的な人。
- ・ 旺盛な知的好奇心に従って主体的に新しい課題を創出し、独創的な発想と卓越した実行力によってこれを解決し、未踏の分野を切り拓いていける人。
- ・ 大学院で獲得した卓越した専門的知識と研究能力を礎として、将来的に社会の第一線で国際的なリーダーとして活躍できる人。

### 入学選抜の基本方針

- ・ 専門分野における修士相当の基礎学力、高度な研究能力、論理的な思考力・解析力を有すること。
- ・ 新しい課題を自ら創出し、これを主体的に解決する資質を有すること。
- ・ 研究成果を国内外に向けて発信するための基本的な語学力とコミュニケーション能力を有すること。

## 1. 出願資格

- (1) 本学において、令和2(2020)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者
- (2) 本学において、修士の学位又は専門職学位を得た者
- (3) 本学以外の日本の大学において、修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和2(2020)年3月31日までに得る見込みの者(注1)
- (4) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和2(2020)年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2(2020)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)
- (6) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2(2020)年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和2(2020)年3月31日までに授与される見込みの者
- (8) 外国の学校、上記出願資格(6)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和2(2020)年3月31日までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者(注3)
- (9) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和2(2020)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上

の学力があると本研究科において認めた者（注1）（注2）（注4）

- (10) 個別の入学資格審査をもって修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、令和2（2020）年3月31日において24歳に達しているもの（注5）

（注1）上記（3）、（9）の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

（注2）上記（5）、（9）には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

（注3）上記（8）の資格により出願しようとする者は、出願前に入学資格審査を行うので、令和元（2019）年5月20日（月）から5月24日（金）までに本研究科事務部大学院担当（6. 出願手続の（1）のウ）に申し出て、その指示に従うこと。

入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

（注4）上記（9）の資格により出願しようとする者は、出願前に入学資格審査を行うので、令和元（2019）年5月20日（月）から5月24日（金）までに本研究科事務部大学院担当（6. 出願手続の（1）のウ）に次の書類を提出すること。

- (a) 所属長の推薦書
- (b) 研究成果報告書
- (c) 略歴書
- (d) その他判定に必要な書類

なお、化学専攻に出願する者で TOEFL-ITP テストの代替を希望する者は、TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT（いずれも2017年9月1日以降に受験したもの）のスコアを提出すること。生物学専攻に出願する者は TOEFL-iBT のスコアを提出すること。

入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の TOEFL-iBT と学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

（注5）上記（10）に該当する者とは、上記（1）から（9）に該当しない者のうち、個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

上記（10）で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、令和元（2019）年5月20日（月）から5月24日（金）に本研究科事務部大学院担当（6. 出願手続の（1）のウ）に申し出て、その指示に従うこと。

入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

## 2. 選 抜 方 法

選抜は、修士の学位論文又はこれに代わるものの審査、筆記試験（各専攻が指定する）、口述試験及び出身学校の学業成績により行う。

### 3. 専攻別募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
物理学	79名	化学	26名
天文学	14名	生物科学	44名
地球惑星科学	52名		

- (1) 試験の成績によっては、合格者数が募集人員を上回る場合又は下回る場合がある。
- (2) 化学専攻においては、令和2(2020)年4月入学のほかに、令和元(2019)年9月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、令和元(2019)年9月入学を希望する者は、1. 出願資格の(1)から(10)までの「令和2(2020)年3月31日」を「令和元(2019)年9月19日」と読み替えること。ただし、令和元(2019)年9月20日から9月30日までの間に1. 出願資格の(1)から(10)のいずれかを満たす者は、事前に本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のウ)に問い合わせること。

### 4. 試験期日及び場所

- (1) 1. 出願資格(1)による出願者(修士課程の所属と異なる研究科・専攻に出願する者を除く。)の試験期日及び場所は、各専攻で定める。
- (2) 1. 出願資格(1)による出願者のうち修士課程の所属と異なる研究科・専攻に出願する者、1. 出願資格(2)～(10)による出願者の試験期日は、次の期間とし、試験期日及び場所の詳細は受験票郵送時に通知する。

物理学専攻	筆記試験 令和元(2019)年8月19日(月)～20日(火) 口述試験 令和2(2020)年1月20日(月)～2月7日(金)* ※口述試験は筆記試験合格者のみ
天文学専攻	筆記試験 令和元(2019)年8月20日(火) 口述試験 令和2(2020)年1月20日(月)～2月7日(金)* ※口述試験は筆記試験合格者のみ
地球惑星科学専攻	筆記試験 令和元(2019)年8月20日(火) 口述試験 令和2(2020)年1月20日(月)～2月7日(金)* ※口述試験は筆記試験合格者のみ
化学専攻 2019年9月 入学希望者	筆記試験 令和元(2019)年8月20日(火) 口述試験 令和元(2019)年8月21日(水)
化学専攻 2020年4月 入学希望者	筆記試験 令和元(2019)年8月20日(火) 口述試験 令和2(2020)年1月20日(月)～2月7日(金)* ※口述試験は筆記試験合格者のみ
生物科学専攻	筆記試験・口述試験 令和2(2020)年1月20日(月)～2月7日(金)

## 5. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 合格者の発表は、令和2(2020)年3月3日(火)午後1時頃に理学部1号館西棟正面玄関横の掲示板に掲示するとともに、受験者全員に対し試験の結果を本人あてに郵送する。3月5日(木)までに試験結果通知が到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のウ)に連絡し、指示を受けること。(注1)
- (2) 合格者は、試験結果通知とともに送付される入学手続要領により、3月中の所定の期間内に必要な入学手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。(注1)
- (3) 入学時に必要な経費(令和2(2020)年度予定額)(注2)  
(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)
- ① 入 学 料 282,000円(予定額)
  - ② 授業料 前期分 260,400円(年額520,800円)(予定額)

(注1) 化学専攻の入学許可及び手続きの通知は別途行う。化学専攻の入試案内書を参照すること。

また、令和元(2019)年9月入学を認められた者は、所定の期間内に必要な入学手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(注2) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

## 6. 出 願 手 続

### (1) 出 願 方 法

#### ア. 受付期間

物理学専攻 天文学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻	令和元(2019)年7月1日(月)～7月5日(金) ただし、7月5日(金)までの消印があるものは受け付ける。
生物科学専攻	令和2(2020)年1月6日(月)～1月8日(水) ただし、1月8日(水)までの消印があるものは受け付ける。

#### イ. 出願方法

(2)の書類を一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院理学系研究科博士課程出願書類」と朱書の上、郵便局窓口において「書留郵便」の手続きをすること。

ただし、1. 出願資格(1)の出願者については、受付期間の間の午前10時から12時・午後1時から5時までに、出願場所に直接提出することができる。

#### ウ. 出願場所

/あて先

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学大学院理学系研究科事務部大学院担当

電話 03-5841-4080

(2) 出願書類等(下記の(注)①・②を参照すること。)

ア. 入・進学願書 本研究科所定の用紙に所要事項を記入したもの。

イ. 修士の学位論文  
又はこれに代わるもの及びその要旨  
学位論文については、「写」でも差し支えない。  
要旨は4,000字以内で作成したもの。  
〔研究論文があれば、他の書類と併せて提出することができる。〕

ウ. 成績証明書 修士課程の成績を証明するもので、原本を提出すること。

エ. TOEFL-iBTのスコア

- ・化学専攻に出願する者で TOEFL-ITP テストの代替を希望する者は、TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT (いずれも2017年9月1日以降に受験したもの) のスコアを提出すること。ただし、本研究科化学専攻に在籍し、1.出願資格(1)により本研究科化学専攻に出願する者、過去に本研究科化学専攻の修士課程を修了し、1.出願資格(2)により本研究科化学専攻に出願する者については、提出する必要はない。詳しくは下記専攻ホームページで確認すること。  
[http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/chem\\_graduate/doctoralprogram.html](http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/chem_graduate/doctoralprogram.html)
- ・生物科学専攻に出願する者は TOEFL-iBT のスコアを提出すること。ただし、本研究科生物科学専攻に在籍し、1.出願資格(1)により本研究科生物科学専攻に出願する者、過去に本研究科生物化学専攻又は生物科学専攻の修士課程を修了し、1.出願資格(2)により本研究科生物科学専攻に出願する者については、提出する必要はない。詳しくは下記専攻ホームページで確認すること。  
<http://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/admission/8.html>

オ. 写真票・受験票 3か月以内撮影のカラー写真(正面上半身脱帽のもの)を、所定欄に貼付する。

カ. 封筒 出願者本人のあて名を記入し、372円分の切手を貼ること。(受験票送付用)

キ. あて名シール 出願者本人のあて名を記入すること。(試験結果通知・入学手続書類送付用)

ク. 検定料 30,000円  
検定料の払込期日は次の期間とする。

物理学専攻 天文学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻	令和元(2019)年6月12日(水)～7月5日(金)
生物科学専攻	令和元(2019)年12月2日(月)～令和2(2020)年1月8日(水)

【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済(アリペイ・銀聯)での払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。

ただし、1.出願資格(1)に該当する出願者並びに外国人出願者のうち出願時において日本政府(文部科学省)奨学金留学生である者は検定料は不要である。なお、外国人出願者で本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出すること。

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入し、「出願者へのお願い」を参照の上、最寄りの金融機関(※ゆうちょ銀行・郵便局不可)の窓口から、振り込むこと(※ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネッ

ト等は利用しないこと)。振り込みの際、振込金受取書(B票)及び払込金受付証明書(C票)を受け取り、払込金受付証明書(C票)を検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管すること。  
※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「払込金受付証明書(C票)」が発行されないので利用しないこと。

**【コンビニエンスストアでの払込の場合】**

コンビニエンスストアは、「セブン-イレブン」、「ローソン」「ファミリーマート」、「ミニストップ」に限る。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。

**【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込の場合】**

払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、申込完了時に通知された【お客様番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封すること。

**【クレジットカード・中国オンライン決済(アリペイ・銀聯)での払込の場合】**

クレジットカードは、「ビザカード(VISA)」、「マスターカード(Master)」、「JCBカード」、「アメリカン・エクスプレスカード(American Express)」が利用可能。実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、申込完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封すること。

- ケ. 日本語の学力を表す証明書 外国人は、指導教員又はこれに準ずる者による日本語の学力を表す証明書を提出すること。(様式随意)  
ただし、日本の大学を卒業した者又は日本の大学院を修了した者及び令和2(2020)年3月までに修了見込みの者は提出する必要はない。

- (注) ① 1. 出願資格(1)による出願者で、修士課程の専攻と同じ専攻に出願する者は、アの入・進学願書及びキのあて名シールのみ提出すること。  
修士課程の所属と異なる研究科・専攻に出願する者は、アの入・進学願書の他に、イ、ウ、オ、カ、キの書類、その内生物科学専攻に出願する者、又は、化学専攻に出願する者でTOEFL-ITPテストの代替を希望する者はエの書類も提出すること。
- ② 1. 出願資格(2)による出願者は、アの入・進学願書、オの写真票・受験票(写真を所定欄に貼付したもの)、カの返信用封筒、キのあて名シールを提出し、クの検定料を払い込むこと。ただし、修士課程の所属と異なる研究科・専攻に出願するものは前述の書類の他に、イ、ウの書類も提出すること。  
また、1. 出願資格(2)による出願者のうち生物科学専攻に出願する者、又は、化学専攻に出願する者でTOEFL-ITPテストの代替を希望する者はエの書類も提出すること。

## 7. 注 意 事 項

(1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない<sup>※</sup>。また、本一般選抜以外の選抜方法で出願した者は、同一年度の同一時期への入学を目的として、本一般選抜へ出願することができないので注意すること。

※化学専攻に出願する者は、令和元(2019)年9月入学と令和2(2020)年4月入学のうち、いずれか一つを選ばなければならない。さらに、令和元(2019)年9月入学を希望する場合には、本研究科のどの専攻にも令和2(2020)年4月入学を目的として出願することができないので注意すること。

(2) 出願手続完了後は、どのような事情があっても書類の変更は認めず、また、検定料の払い戻しはできない。

(3) 出願者は、出願前に志望指導教員に必ず連絡すること。

(4) 1. 出願資格(1)による出願者のうち修士課程の所属と異なる研究科・専攻に出願する者、1. 出願資格(2)～(10)による出願者の受験票は郵送する。

下記の期日までに到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のウ)に連絡し、指示を受けること。

物理学専攻 天文学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻	令和元(2019)年8月2日(金)
生物科学専攻	令和2(2020)年1月15日(水)

(5) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のウ)に申し出ること。

(6) 官公庁・企業・団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の「所属長の承諾書(様式随意)」を提出すること。

(7) 外国人は、入学手続時までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」の規定により、大学院入学に支障のない在留資格を得ることが必要である。

(8) 事情により、出願手続、試験期日等について、変更することがある。変更があった場合はあらためて通知する。

(9) 入学手続後は、どのような事情があっても入学料の払い戻しはできない。

(10) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(11) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

(12) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

(13) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可出来ない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ウェブサイトを参照すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

令和元(2019)年5月

# 提出書類確認表

	出願資格(1)による出願者		出願資格(2)による出願者		出願資格(3)(4)(5)(6)(7)による出願者	出願資格(8)(9)(10)による出願者
	修士課程と同じ専攻に出願する者	修士課程と違う専攻に出願する者(本学他研究科出身者を含む。)	修士課程と同じ専攻に出願する者	修士課程と違う専攻に出願する者(本学他研究科出身者を含む。)		
ア. 入・進学願書(正・副)	○	○	○	○	○	(9)の出願資格該当者は、次の書類を令和元(2019)年5月20日(月)～24日(金)の間に本研究科事務部大学院担当に提出すること。 (a)所属長の推薦書 (b)研究成果報告書 (c)略歴書 (d)その他判定に必要な書類 (いずれも様式随意) ※化学専攻に出願する者でTOEFL-ITPテストの代替を希望する者は、TOEFL-iBT又はTOEFL-PBTのスコアを併せて提出すること。  生物科学専攻に出願する者はTOEFL-iBTのスコアを併せて提出すること。  (8)及び(10)の出願資格該当者は、入学資格審査を行うので令和元(2019)年5月20日(月)～24日(金)の間に本研究科事務部大学院担当に申し出ること。
イ. 修士の学位論文又はこれに代わるもの(「写」でも可)及びその要旨(4,000字以内)	×	○ (注1)	×	○ (注1)	○ (注1)	
ウ. 修士課程成績証明書	×	○ (注2)	×	○ (注2)	○ (注2)	
エ. TOEFL-iBTのスコア	×	○ (注3)	×	○ (注3)	○ (注3)	
オ. 写真票・受験票(写真を貼り付けること)	×	○	○	○	○	
カ. 封筒(受験票送付用)「住所・氏名を記入し、372円分の切手を貼ること」※殿は消さないこと	×	○	○	○	○	
キ. あて名シール※殿は消さないこと	○	○	○	○	○	
ク. 検定料払込金受付証明書(収納証明書等を所定欄に貼付、または印刷した受付完了画面同封)	×	×	○ (注4)	○ (注4)	○ (注4)	
ケ. 日本語の学力を表す証明書	外国人の出願者は、指導教員又はこれに準ずる者による日本語学力証明書を提出すること。(ただし、日本の大学を卒業した者又は大学院を修了した者及び修了見込みの者は、提出する必要はない。)					
その他	志望する専攻から指示された書類がある場合は提出すること。各専攻のホームページ等を確認すること。					
(注1) 各専攻で定めた期日に提出すること。 (注2) 修了した大学院が複数ある場合は、すべての大学院の成績証明書を提出すること。 (注3) 化学専攻に出願する者でTOEFL-ITPテストの代替を希望する者はTOEFL-iBT又はTOEFL-PBTのExaminee's Score Report/Test Taker Score Reportのコピーを提出すること。 生物科学専攻に出願する者はTOEFL-iBTのExaminee's Score Report/Test Taker Score Reportのコピーを提出すること。 Official Score Report/Institutional Score Reportについては各専攻のホームページを確認のこと。 (注4) 日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料不要。 ただし、他大学から出願する者は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明を提出すること。						



## 大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A0 原子核 理論	教 授 福 嶋 健 二	原子核理論	理学系研究科 物理学専攻
		客員准教授 Haozhao LIANG	原子核理論	理化学研究所
	A1 素粒子 理論	教 授 諸 井 健 夫	素粒子論・宇宙論	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 松 尾 泰	素粒子論・弦理論・数理物理学	〃
		准教授 濱 口 幸 一	素粒子現象論・初期宇宙論	〃
		准教授 伊 部 昌 宏	素粒子理論	宇宙線研究所
		教 授 村 山 齊	素粒子論・初期宇宙論	カブリ数物連携宇宙 研究機構
		教 授 堀 健太朗	素粒子論・弦理論	〃
		准教授 渡 利 泰 山	素粒子論・弦理論	〃
	A2 素粒子 実験・ 原子核 実験・ 加速器	教 授 櫻 井 博 儀	原子核物理学実験	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 浅 井 祥 仁	素粒子物理学実験	〃
		准教授 横 山 将 志	素粒子物理学実験	〃
		教 授 酒 見 泰 寛	原子核物理学実験	理学系研究科附属 原子核科学研究センター
		准教授 矢 向 謙太郎	原子核物理学実験	〃
		准教授 今 井 伸 明	実験核物理	〃
		准教授 郡 司 卓	高エネルギー原子核物理学実験	〃
		講 師 山 口 英 齊	原子核物理学実験・宇宙核物理学	〃
		教 授 森 俊 則	素粒子物理学実験	素粒子物理国際研究センター
		教 授 石 野 雅 也	素粒子物理学実験	〃
		教 授 田 中 純 一	素粒子物理学実験	〃
准教授 大 谷 航		素粒子物理学実験	〃	
准教授 奥 村 恭 幸		素粒子物理学実験	〃	
准教授 澤 田 龍		素粒子物理学実験	〃	
教 授 (委) 齊 藤 直 人		原子核・素粒子物理学実験	高エネルギー加速器 研究機構	
教 授 (委) 後 田 裕		素粒子物理学実験	〃	
教 授 (委) 小 関 忠		加速器	〃	
准教授(委) 小沢 恭一郎	高エネルギー原子核物理学実験	〃		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A 3 物 性 理 論	教 授 小 形 正 男	物性物理学理論・統計力学	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 常 行 真 司	物性物理学理論	〃
		教 授 上 田 正 仁	冷却原子気体理論・情報熱力学・量子測定	〃
		教 授 村 尾 美 緒	量子情報理論・量子力学基礎論	〃
		教 授 藤 堂 眞 治	計算物理	〃
		准教授 桂 法 称	物性物理学理論・統計力学	〃
		教 授 (兼) 加 藤 雄 介	物性物理学理論	総合文化研究科
		教 授 押 川 正 毅	物性物理学理論・統計力学	物性研究所
		教 授 常 次 宏 一	強相関電子系	〃
		教 授 川 島 直 輝	計算物理学	〃
		教 授 杉 野 修	計算物質科学・第一原理計算	〃
		教 授 尾 崎 泰 助	計算物質科学	〃
		准教授 加 藤 岳 生	物性物理学理論	〃
	教 授 羽 田 野 直 道	物性基礎論・量子基礎論	生産技術研究所	
	A 4 物 性 実 験	教 授 長 谷 川 修 司	表面物性・ナノスケール系物性	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 高 木 英 典	物性物理	〃
		教 授 中 辻 知	量子物性	〃
		准教授 岡 本 徹	低次元半導体物性・低温物性	〃
		准教授 林 将 光	電子スピン物性	〃
		講 師 北 川 健 太 郎	物性物理学	〃
		教 授 小 林 研 介	量子物性	理学系研究科附属 知の物理学研究センター
		教 授 島 野 亮	光物性物理・レーザー分光	低温センター
		准教授 村 川 智	低温物理学・量子液体・固体	〃
教 授 勝 本 信 吾		低温・半導体・量子輸送	物性研究所	
教 授 金 道 浩 一	強磁場物理学	〃		
教 授 上 床 美 也	高圧・電子物性・磁性	〃		
教 授 山 室 修	化学物理・ソフトマター	〃		
准教授 松 田 巖	光物性物理・表面物性	〃		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物	A 4 物性 実験	准教授 徳 永 将 史	強磁場物理学	物性研究所
		准教授 近 藤 猛	角度分解光電子分光・電子物性	〃
	A 5 一 般 物 理 学 理 論	教 授 須 藤 靖	宇宙物理学・太陽系外惑星	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 吉 田 直 紀	宇宙物理学	〃
		教 授 横 山 順 一	宇宙論・重力波物理学	理学系研究科附属ビッグ バン宇宙国際研究センター
		教 授 Kipp CANNON	Gravitational Wave Astrophysics	〃
		教 授 川 崎 雅 裕	宇宙論・素粒子的宇宙物理学	宇宙線研究所
		教 授 田 越 秀 行	重力波宇宙物理学	〃
		准教授 浅 野 勝 晃	高エネルギー宇宙物理学	〃
		教 授 半 場 藤 弘	流体物理学	生産技術研究所
		教 授 石 川 颯 一	光量子物理学理論・第一原理計算	工学系研究科
教 授 高 田 昌 広	宇宙物理学・宇宙論	カブリ数物連携宇宙 研究機構		
理	A 6 一 般 物 理 学 実 験	教 授 酒 井 広 文	レーザーを用いた原子分子物理学実験	理学系研究科 物理学専攻
		准教授 竹 内 一 将	非平衡統計力学・生物物理学・非線形科学	〃
		教 授 三 尾 典 克	レーザー応用	理学系研究科附属 フォトンサイエンス研究機構
		准教授 井手口 拓 郎	光科学	〃
		教 授 秋 山 英 文	光物性・半導体・レーザー・生物発光	物性研究所
		准教授◆板 谷 治 郎	原子分子光物理学	〃
		准教授 松 永 隆 佑	テラヘルツ-中赤外域の固体中極端非線形光学	〃
		准教授(兼)江 尻 晶	プラズマ物理学・核融合科学	新領域創成科学研究科
		准教授(兼)鳥 井 寿 夫	レーザー冷却・量子光学	総合文化研究科
学	A 7 生 物 物 理	教 授 樋 口 秀 男	運動と神経系の生物物理学	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 岡 田 康 志	生物物理学	〃
		教 授 古 澤 力	生物物理学(理論/実験)	〃
		講 師 伊 藤 創 祐	生物物理学(理論)・非平衡統計力学	理学系研究科 附属生物普遍性研究機構
		准教授 野 口 博 司	ソフトマター理論	物性研究所
		教授(兼)能 瀬 聡 直	神経回路の形成と機能	新領域創成科学研究科
		教授(兼)岡 田 真 人	理論脳科学・物性基礎論	〃
		教授(兼)酒 井 邦 嘉	脳機能イメージング・言語脳科学	総合文化研究科

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A 7	教授（兼）新井 宗 仁	蛋白質物理学・生物物理学	総合文化研究科
	A 8 宇宙物理実験・ 宇宙素粒子実験	教授 山 本 智	星間物理学・星間化学	理学系研究科 物理学専攻
		准教授 安 東 正 樹	重力波宇宙物理学	〃
		准教授 馬 場 彩	宇宙物理学実験	〃
		准教授 日 下 暁 人	宇宙物理学実験・観測的宇宙論	〃
		教授 梶 田 隆 章	重力波物理学・ニュートリノ物理学	宇宙線研究所
		教授 中 畑 雅 行	ニュートリノ物理学	〃
		教授 手 嶋 政 廣	高エネルギーガンマ線天文学	〃
		教授 大 橋 正 健	重力波宇宙物理学	〃
		教授 塩 澤 真 人	素粒子・宇宙線物理学実験	〃
		教授 瀧 田 正 人	高エネルギー宇宙線天文学	〃
		教授 佐 川 宏 行	宇宙線物理学	〃
		教授 森 山 茂 栄	素粒子・宇宙線物理学	〃
		准教授 吉 越 貴 紀	ガンマ線宇宙物理学	〃
		准教授 早 戸 良 成	ニュートリノ物理学	〃
		准教授 大 内 正 己	宇宙物理学	〃
		准教授 奥 村 公 宏	ニュートリノ物理学	〃
		准教授 三 代 木 伸 二	重力波実験物理学	〃
		准教授 内 山 隆	重力波物理学	〃
		准教授 関 谷 洋 之	宇宙素粒子物理学	〃
		准教授 埴 隆 志	宇宙線物理学	〃
	教授 高 橋 忠 幸	高エネルギー宇宙物理学	カブリ数物連携宇宙 研究機構	
	教授（委）中 川 貴 雄	赤外線宇宙物理学	JAXA/宇宙科学研究所	
	教授（委）山 崎 典 子	高エネルギー宇宙物理学	〃	
	准教授（委）山 口 弘 悦	高エネルギー天文学・実験室宇宙物理学	〃	

【物理学専攻 注意事項】

◆：当該教員を志望する場合、出願時までには物性研究所に確認書を提出しなければなりません。志望指導教員氏名欄に当該教員を記載する場合、6月24日（月）までに物理学専攻教務まで電子メールで連絡をしてください。

(E-mail : gakumu-physics@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
天	A	教授 戸谷友則	宇宙物理学	理学系研究科 天文学専攻
		教授 相川祐理	理論天体物理学・星間化学	〃
		准教授 梅田秀之	理論天体物理学	〃
		准教授 藤井通子	理論天体物理学	〃
		准教授 茂山俊和	理論天体物理学	理学系研究科附属 ビッグバン宇宙国際 研究センター
		教授(兼)鈴木建	理論天体物理学	総合文化研究科
		教授(委)小久保英一郎	理論天体物理学・惑星系天文学	国立天文台
		准教授(委)中村文隆	理論天体物理学・電波天文学・星間物質	〃
文 学	B	教授 田村元秀	系外惑星天文学・赤外光学天文学	理学系研究科 天文学専攻
		教授 柏川伸成	銀河天文学	〃
		准教授 嶋作一大	銀河天文学	〃
		教授 土居守	銀河天文学	理学系研究科附属 天文学教育研究センター
		教授 宮田隆志	赤外線天文学	〃
		准教授 小林尚人	天体物理学	〃
		准教授 本原顕太郎	赤外線天文学	〃
		准教授 峰崎岳夫	赤外線天文学・銀河天文学	〃
		准教授(兼)大内正己	銀河天文学	宇宙線研究所
		准教授(兼) John Silverman	銀河天文学	カブリ数物連携 宇宙研究機構
		准教授(委)高遠徳尚	赤外線天文学	国立天文台

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
天 文 学	C	教 授 河 野 孝 太 郎	電波天文学・銀河天文学	理学系研究科附属 天文学教育研究センター
		教 授 (委) 大 橋 永 芳	電 波 天 文 学	国 立 天 文 台
		教 授 (委) 阪 本 成 一	電 波 天 文 学	〃
		教 授 (委) 深 川 美 里	系外惑星天文学・電波天文学	〃
		教 授 (委) 本 間 希 樹	電波天文学・銀河天文学	〃
		准教授 (委) 奥 田 武 志	電 波 天 文 学	〃
	D	教 授 (委) 郷 田 直 輝	天 体 物 理 学	国 立 天 文 台
		教 授 (委) Raffaele Flaminio	重 力 波 天 文 学	〃
		准教授 (委) 原 弘 久	太 陽 物 理 学	〃
		准教授 (委) 勝 川 行 雄	太 陽 物 理 学	〃
		教 授 (委) 海老沢 研	X 線 天 文 学	JAXA/ 宇宙科学研究所
		准教授 (委) 片 埴 宏 一	赤 外 線 天 文 学	〃

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		<大気海洋科学グループ>			
		教 授 佐藤 薫	大 気 力 学 ・ 中 層 大 気 科 学	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教 授 ◆日比谷紀之	海 洋 力 学 ・ 深 海 乱 流 混 合 ・ 海 洋 波 動 理 論	〃	
		教 授 升本 順夫	気 候 力 学 ・ 大 気 海 洋 循 環 物 理 学	〃	
		准教授 小池 真	大 気 環 境 科 学	〃	
		准教授 東塚 知己	海 洋 物 理 学 ・ 気 候 力 学	〃	
		准教授 三浦 裕亮	大 気 物 理 学 ・ 気 候 モ デ リ ン グ	〃	
		教 授 木本 昌秀	大気大循環・気候変動・気候力学・気候系モデリング	大気海洋研究所	
		教 授 佐藤 正樹	大気科学・気象力学・地球流体力学・数値モデリング・気候力学	〃	
		教 授 高藪 縁	熱 帯 気 象 学 ・ 降 水 気 象 学 ・ 気 候 変 動	〃	
		教 授 羽角 博康	海 洋 物 理 学 ・ 気 候 力 学	〃	
		教 授 安田 一郎	海洋物理学・海洋生態系力学・水産海洋学・気候海洋力学	〃	
		教 授 渡部 雅浩	気候モデリング・気候力学・大規模大気循環の力学	〃	
		准教授 伊賀 啓太	地 球 流 体 力 学 ・ 気 象 力 学 ・ 海 洋 力 学	〃	
		准教授 岡 顕	海 洋 物 理 学 ・ 気 候 モ デ リ ン グ ・ 海 洋 物 質 循 環 モ デ リ ン グ ・ 古 海 洋 モ デ リ ン グ	〃	
		准教授 岡 英太郎	海 洋 物 理 学 ・ 海 洋 観 測	〃	
		准教授 鈴木健太郎	雲物理学・大気放射・雲とエアロゾルの相互作用・気候モデリング・衛星データ解析	〃	
		教 授(委) ※勝又 勝郎	海 洋 力 学 ・ 海 洋 大 循 環 論	海洋研究開発機構	
			<宇宙惑星科学グループ>		
			教 授 杉田 精司	惑星探査・惑星科学・アストロバイオロジー	理学系研究科 地球惑星科学専攻
			教 授 関 華奈子	太 陽 惑 星 系 物 理 学 ・ 電 磁 気 圏 物 理 学 ・ 宇 宙 空 間 プ ラ ズ マ 物 理 学	〃
			教 授 橘 省吾	宇 宙 化 学	〃
			教 授 星野 真弘	宇 宙 空 間 物 理 学 ・ プ ラ ズ マ 物 理 学	〃
			准教授 天野 孝伸	宇 宙 空 間 物 理 学 ・ プ ラ ズ マ 宇 宙 物 理 学	〃
			准教授 笠原 慧	惑星科学（電磁気圏を含む）、特に探査機搭載粒子観測器の開発	〃
			准教授 横山 央明	太 陽 ・ 天 体 プ ラ ズ マ 物 理 学	〃
		教 授(委) 臼井 寛裕	地 球 化 学 ・ 岩 石 学 ・ 惑 星 探 査 学	宇宙科学研究所 / J A X A	
		教 授(委) 齋藤 義文	惑星磁気圏物理学・惑星探査用観測装置開発	〃	
		教 授(委) 藤本 正樹	宇 宙 プ ラ ズ マ 物 理 学 ・ 惑 星 系 形 成 論	〃	
		准教授(委) 清水 敏文	太 陽 ・ 天 体 プ ラ ズ マ 物 理 学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		教授(兼) 今村 剛	惑星大気科学・惑星探査	新領域 創成科学研究科	
		教授(兼) 吉川 一朗	惑星探査、大気・プラズマのリモートセンシング	〃	
		講師(兼) 吉岡 和夫	惑星探査・宇宙空間物理学	〃	
		教授(兼) 宮本 英昭	惑星地質学	工学系研究科	
		教授(兼) 三河内 岳	惑星物質科学・鉱物学・隕石学	総合研究博物館	
		教授(委) ※竝木則行	惑星科学・惑星探査	国立天文台	
		<地球惑星システム科学グループ>			
		教授 茅根 創	地球環境システム学(サンゴ礁・沿岸・炭素循環・地球規模変動・古環境変動)	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教授 田近 英一	地球惑星システム科学・地球史学・比較惑星環境進化学・アストロバイオロジー	〃	
		教授 橘 省吾	宇宙化学	〃	
		准教授 生駒 大洋	理論惑星科学・系外惑星科学	〃	
		教授(兼) 中井 俊一	地球化学	地震研究所	
		教授 山野 誠	地球熱学・テクトニクス	〃	
		准教授 今西 祐一	測地学	〃	
		教授 阿部 彩子	古気候モデリング・南極氷床変動・過去と将来の氷床気候変動	大気海洋研究所	
		教授 横山 祐典	気候変動学・海面変動・サンゴ気候学・加速器質量分析・年代測定学・地球化学・南極氷床変動・地形学	〃	
		准教授 黒田潤一郎	古海洋学・海洋地質学・地球化学	〃	
		准教授 吉森 正和	気候変動・極域気候・古気候モデリング・全球気候モデル	〃	
		教授 中村 尚	気候力学・大気海洋相互作用・異常気象と気候変動	先端科学技術研究 センター	
		准教授 小坂 優	気候変動・異常気象・気候力学	〃	
		准教授 森 俊哉	火山学・火山化学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設	
		教授(兼) 須貝 俊彦	地形学・自然環境論	新領域 創成科学研究科	
		教授(兼) 山室 真澄	陸水学・沿岸海洋学・生物地球化学	〃	
		教授(兼) 小宮 剛	地球型惑星の惑星内部・生命環境進化解読・地質学・岩石学	総合文化研究科	
		准教授(兼) 小河 正基	固体地球惑星物理学	〃	
		教授(兼) 小口 高	地理情報科学・地形学	空間情報科学 研究センター	
		准教授(委) ※渋谷 岳造	地質学・地球化学・アストロバイオロジー	海洋研究開発機構	
	<固体地球科学グループ>				
	教授 井出 哲	地震学・地震発生論	理学系研究科 地球惑星科学専攻		



専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
地 球 惑 星 科 学		教授 ウォリス,サイモン	構造岩石学・テクトニクス	理学系研究科 地球惑星科学専攻
		教授 廣瀬 敬	高圧地球科学・地球惑星深部物質学	〃
		准教授 安藤 亮輔	震源物理学・地震テクトニクス	〃
		准教授 飯塚 毅	地球惑星化学	〃
		准教授 河合 研志	グローバル地震学・地球内部構造論	〃
		准教授 田中 愛幸	測 地 学	〃
		教授 新谷 昌人	地球計測学	地震研究所
		教授 岩森 光	地球ダイナミクス	〃
		教授 上嶋 誠	地球内部電磁気学	〃
		教授 小原 一成	観測地震学・スロー地震学・ 地震波動伝播解析学	〃
		教授 加藤 尚之	震 源 力 学	〃
		教授 木下 正高	海洋底地球物理学・掘削観測科学・地球熱学	〃
		教授 小屋口剛博	火山学・複雑理工学	〃
		教授 佐竹 健治	地震学（巨大地震・津波）	〃
		教授 塩原 肇	海底地震学	〃
		教授 篠原 雅尚	海洋地震学	〃
		教授 武井 康子	地球内部物性とダイナミクス（特に多結晶体の粘弾性、 固液複合系の物性・流体移動ダイナミクス）	〃
		教授 田中 宏幸	高エネルギー地球物理学	〃
		教授 古村 孝志	地震波データ解析・地震波の伝播計算・強震動・ 地震津波災害軽減	〃
		教授 吉田 真吾	実験地震学	〃
		准教授 飯高 隆	観測地震学	〃
		准教授 石山 達也	変動地形学・アクティブテクトニクス・応用地球物理学	〃
		准教授 市原 美恵	火山物理学	〃
		准教授 大湊 隆雄	火山物理学	〃
		准教授 加藤愛太郎	震源物理学・観測地震学	〃
		准教授 加納 靖之	地震学・歴史災害科学	〃
	准教授 亀 伸樹	地震破壊のモデリング	〃	
	准教授 酒井 慎一	観測地震学	〃	
	准教授 清水 久芳	地球電磁気学・地球流体力学・電磁流体力学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		准教授 鈴木雄治郎	火 山 学 ・ 火 山 物 理 学	地 震 研 究 所	
		准教授 竹内 希	地 震 学	〃	
		准教授 中谷 正生	震源物理学・実験岩石力学・鉱山地下地震観測学・ 地 震 先 行 現 象	〃	
		准教授 西田 究	地 震 学	〃	
		准教授 平賀 岳彦	鉱 物 ・ 岩 石 物 理	〃	
		准教授 前野 深	火 山 学 ・ 火 山 地 質 学 ・ 火 山 岩 石 学	〃	
		准教授 望月 公廣	海 域 地 震 学	〃	
		准教授 安田 敦	実 験 マ グ マ 学	〃	
		准教授 綿田 辰吾	地 震 学 ・ 津 波	〃	
		教 授 沖野 郷子	海 洋 底 地 球 物 理 ・ テ ク ト ニ ク ス	大 気 海 洋 研 究 所	
		准教授 朴 進午	海洋地質学・地球物理学（反射法地震探査）	〃	
		准教授 山口 飛鳥	海洋地質学・構造地質学・化学地質学	〃	
		教 授 (委) 船守 展正	放射光科学・高圧力科学・地球惑星内部物質科学	物質構造科学研究所 / K E K	
		准教授 (兼) 芦 寿一郎	海 洋 地 質 学	新領域創成科学研究科 (大気海洋研究所)	
		教授 (委) ※穴倉 正展	古地震学・変動地形学・第四紀地質学	産業技術総合研究所	
		<地球生命圏科学グループ>			
		教 授 遠藤 一佳	分 子 古 生 物 学 ・ 貝 殻 形 成 論	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教 授 狩野 彰宏	堆 積 学 ・ 古 気 候 学 ・ 生 命 地 球 科 学	〃	
		教 授 小暮 敏博	鉱物学・物質科学・電子顕微鏡・結晶学	〃	
		教 授 後藤 和久	地 質 学 ・ 堆 積 学	〃	
		教 授 高橋 嘉夫	地球化学・環境化学・放射化学（特に分子環境地球化学）	〃	
		准教授 板井 啓明	環 境 地 球 化 学	〃	
		准教授 鈴木 庸平	地球微生物学・物質循環学・ナノ鉱物学	〃	
		准教授 白井厚太郎	地球化学・(古)環境学・(古)生態学・気候変動物質循環/生態 系 の 共 変 化 史 解 明	大 気 海 洋 研 究 所	
		教 授 (兼) 鍵 裕之	地球深部物質学・高圧科学・地球化学・鉱物科学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設	
		教 授 (兼) 平田 岳史	地球化学・分析化学・同位体地球化学・年代学	〃	
		教 授 (兼) 常行 真司	物性理論電子状態理論に基づく極限条件下の物性研究	理学系研究科 物理学専攻	
	准教授 (兼) 佐々木猛智	古生物学・比較解剖学・分類学	総合研究博物館		
	准教授 (委) ※對比地孝亘	古脊椎動物学・脊椎動物比較解剖学	国立科学博物館		
	准教授 (委) ※高野 淑識	有 機 地 球 化 学 ・ 地 球 生 命 科 学	海洋研究開発機構		

**【地球惑星科学専攻 注意事項】**

※は、副指導教員としてのみ指定することが可能です。

◆は、今年度博士課程学生を受け入れない教員です。

専攻	サブコース	教員名	専攻分野	所属部局
化学	物理化学系	教授 合田 圭介	光量子科学・レーザー分光学・生体医用工学	理学系研究科 化学専攻
		教授 大越 慎一	物性化学	〃
		教授 山内 薫	強光子場科学・化学反応動力学	〃
		准教授 加藤 毅	強光子場科学・化学反応動力学	〃
		准教授 歸家 令果	分子科学・強光子場科学	〃
		教授 佃 達哉	ナノ化学・触媒化学	〃
		准教授 小安喜一郎	ナノ物質化学	〃
		准教授 鳥居 寛之	放射線科学・素粒子原子物理学	理学系研究科 放射線管理室
		准教授 岡林 潤	物性物理化学	理学系研究科附属 スペクトル化学研究センター
		准教授 岩崎 純史	強光子場科学・レーザー分光学	理学系研究科附属 超高速強光子場科学研究センター
		教授 森 初果	有機固体化学	物性研究所
		教授 吉信 淳	表面物性・表面化学	〃
		教授 山室 修	複雑凝縮系物性化学・中性子散乱	〃
		准教授 松田 巖	単原子層化学・先端X線分光	〃
		准教授(兼) 佐々木 岳彦	表面物理化学	新領域創成 科学研究科
		教授(委) 雨宮 健太	表面科学・放射光科学	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所
		教授 真船 文隆	機能物理化学	総合文化研究科
	有機化学系	教授 菅 裕明	生物有機化学・合成生物学	理学系研究科 化学専攻
		准教授 後藤 佑樹	生物有機化学	〃
		准教授 加藤 敬行	生物有機化学	〃
		教授 小林 修	有機合成化学・グリーンケミストリー	〃
		准教授 山下 恭弘	有機合成化学	〃
		准教授 佐竹 真幸	天然物化学	〃

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
化 学	有 機 化 学 系	教 授 磯部 寛之	物 理 有 機 化 学 ・ 構 造 有 機 化 学	理学系研究科 化学専攻
		特任准教授 佐藤 宗太	物 理 有 機 化 学	〃
		教授 Robert CAMPBELL	生 体 分 子 化 学	〃
		特任准教授 石谷 暖郎	有 機 合 成 化 学 ・ 触 媒 化 学	理学系研究科附属 グリーンサステナブル ケミストリー社会連携講座
		特任講師 Woo-JinYOO	有 機 合 成 化 学 ・ グリーンケミストリー	〃
		特任教授 中村 栄一	物 理 有 機 化 学 ・ 合 成 化 学 ・ ナノ 科 学	総括プロジェクト機構 「革新分子技術」総括寄付講座
		特任准教授 原野 幸治	有 機 化 学 ・ 分 子 集 合 体 科 学	〃
		特任講師 Rui SHANG	有 機 化 学 ・ 合 成 化 学	〃
		教授（兼）寺尾 潤	有 機 電 子 材 料 化 学	総合文化研究科
	無 機 分 析 化 学 系	教 授 小澤 岳昌	分 析 化 学	理学系研究科 化学専攻
		教 授 長谷川哲也	固 体 化 学	〃
		准教授 廣瀬 靖	固 体 化 学	〃
		教 授 塩谷 光彦	生 物 無 機 化 学 ・ 超 分 子 化 学	〃
		准教授 田代 省平	錯 体 化 学 ・ 超 分 子 化 学	〃
		教 授 鍵 裕之	地 球 化 学 ・ 高 圧 科 学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設
		教 授 平田 岳史	宇 宙 地 球 化 学 ・ 分 析 化 学	〃
		准教授 小松 一生	高 圧 科 学 ・ 中 性 子 科 学	〃
		教 授 中井 俊一	地 球 化 学	地震研究所
		教 授 小畑 元	海 洋 無 機 化 学	大気海洋研究所
准教授（委）岡田 達明	太 陽 系 化 学 ・ 惑 星 探 査 科 学	JAXA/ 宇宙科学研究所		
教授（兼）平岡 秀一	有 機 化 学 ・ 超 分 子 化 学	総合文化研究科		

専攻	サブ コース	教員名	専攻分野	所属部局
化学	無機 分析 化学 系	教授（兼）佐藤 守俊	分子イメージング・ケミカルバイオロジー	総合文化 研究科

【化学専攻 注意事項】

- ・第一希望指導教員には出願前に必ず連絡し、各教員の受入予定に関しては個別に事前問い合わせをすること。
- ・※は今年度博士課程学生を受け入れない教員。

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教 授 飯 野 雄 一	分 子 行 動 遺 伝 学	理 学 系 研 究 科 生 物 学 科 学 専 攻
		准 教 授 國 友 博 文	分 子 行 動 遺 伝 学	〃
		教 授 濡 木 理	生 化 学 ・ 構 造 生 物 学	〃
		准 教 授 西 増 弘 志	理 化 学 ・ 構 造 生 物 学	〃
		教 授 塩 見 美 喜 子	分 子 生 物 学 ・ R N A 生 物 学	〃
		准 教 授 山 中 総 一 郎	分 子 生 物 学 ・ 遺 伝 学	〃
		教 授 黒 田 真 也	シ ス テ ム 生 物 学	〃
		教 授 角 田 達 彦	医 科 学 数 理	〃
		准 教 授 程 久 美 子	ゲ ノ ム 情 報 生 物 学	〃
		准 教 授 岩 崎 涉	バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス	〃
		講 師 小 島 大 輔	神 經 機 能 生 化 学	〃
		教 授 上 村 想 太 郎	一 分 子 遺 伝 学	〃
		教 授 榎 本 和 生	神 經 細 胞 生 物 学 ・ 分 子 遺 伝 学	〃
		准 教 授 鈴 木 郁 夫	神 經 生 物 学 ・ 発 生 進 化 学	〃
		教 授 東 山 哲 也	発 生 細 胞 生 物 学	〃
		准 教 授 吉 田 大 和	植 物 細 胞 生 物 学	〃
		教 授 角 谷 徹 仁	植 物 遺 伝 学 ・ エ ピ ゲ ノ ミ ク ス	〃
		教 授 久 保 健 雄	分 子 生 物 学 ・ 細 胞 生 理 化 学	〃
		准 教 授 國 枝 武 和	極 限 生 物 学	〃
		教 授 武 田 洋 幸	発 生 遺 伝 学	〃
		准 教 授 入 江 直 樹	発 生 遺 伝 学	〃
		教 授 塚 谷 裕 一	植 物 発 生 遺 伝 学	〃
		准 教 授 近 藤 修	形 態 人 類 学	〃
	教 授 荻 原 直 道	自 然 人 類 学	〃	
	教 授 太 田 博 樹	人 類 集 団 遺 伝 学 ・ 分 子 人 類 進 化 学 ・ ゲ ノ ム 人 類 学	〃	
	准 教 授 伊 藤 恭 子	植 物 分 子 生 物 学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教 授 寺 島 一 郎	植物生態学・植物生理解剖学	理学系研究科 生物科学専攻
		准教授 矢 守 航	植 物 生 理 生 態 学	〃
		准教授 上 島 励	動物系統分類学・分子進化学	〃
		講 師 井 原 泰 雄	進化人類学・集団生物学	〃
		准教授 大 橋 順	ヒ ト 進 化 遺 伝 学	〃
		教 授 川 北 篤	植 物 生 態 学	理学系研究科 附属植物園
		准教授 杉 山 宗 隆	植 物 生 理 学	〃
		准教授 舘 野 正 樹	植 物 生 態 学	〃
		教 授 三 浦 徹	生態発生学・進化発生学	理学系研究科 附属臨海実験所
		准教授 吉 田 学	細胞生物学・発生生物学	〃
		准教授 眞 田 佳 門	発 生 神 經 科 学	理学系研究科附属 遺伝子実験施設
		准教授 狩 野 泰 則	海 洋 生 態 学 ・ 貝 類 学	大気海洋研究所
		教 授 兵 藤 晋	魚 類 生 理 学 ・ 比 較 内 分 泌 学	〃
		准教授 神 田 真 司	神 經 内 分 泌 学 ・ 比 較 内 分 泌 学	〃
		教 授 井 上 広 滋	分 子 海 洋 生 物 学	〃
		准教授 新 里 宙 也	分 子 海 洋 生 物 学	〃
		教 授 永 田 俊	生物地球化学・微生物生態学	〃
		教 授 遠 藤 秀 紀	遺 体 科 学	総合研究博物館
		教 授 山 梨 裕 司	分子生物学・シグナル伝達機構	医 科 学 研 究 所
		教 授 三 宅 健 介	感 染 ・ 免 疫 部 門	〃
		教 授 武 川 睦 寛	分子細胞生物学・シグナル伝達	〃
		教 授 中 西 真	分 子 腫 瘍 学 ・ 細 胞 周 期	〃
		教 授 多羽田 哲 也	神 經 生 物 学	定 量 生 命 科 学 研 究 所
		教 授 小 林 武 彦	ゲノム再生学・分子老化学	〃
	教 授 胡桃坂 仁 志	ク ロ マ チ ン 構 造 機 能 学	〃	
	准教授 谷内江 望	合 成 生 物 学	先端科学技術 研究センター	



専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教授（委）藤 田 敏 彦	動物系統分類学・海洋無脊椎動物学	国立科学博物館
		准教授（委）海 部 陽 介	形 態 人 類 学	〃
		准教授（委）細 矢 剛	菌 類 系 統 分 類 学	〃
		教 授（委）相 賀 裕美子※	哺 乳 類 発 生 遺 伝 学	国立遺伝学研究所
		教 授（委）斎 藤 成 也※	ゲノム進化学・人類進化学	〃
		教授（客員）白 須 賢	植 物 免 疫 学	理化学研究所
		教授（客員）杉 本 慶 子	植 物 細 胞 機 能 学	〃
		教授（客員）黒 崎 久仁彦	法 医 人 類 学	東 邦 大 学 学 部 東 医 学
		教 授（委）深 津 武 馬	共 生 進 化 学	産 業 技 術 総 合 所 研 究
		教 授（委）岩 本 和 也	分 子 精 神 医 学	熊 本 大 学
		教 授（兼）饗 場 篤	分 子 遺 伝 学 ・ 分 子 神 經 生 物 学	医 学 系 研 究 科
		教 授（兼）樋 口 秀 男	生 化 学 ・ 生 物 物 理 学	理 学 系 研 究 科 物 理 学 専 攻
		教 授（兼）岡 田 康 志	生 物 物 理 学 ・ 細 胞 生 物 学	〃
		教 授（兼）古 澤 力	普 遍 性 生 物 学 ・ 生 物 物 理 学	〃
		教 授 小 澤 岳 昌	分 析 化 学	理 学 系 研 究 科 化 学 専 攻
		教 授 遠 藤 一 佳	分 子 古 生 物 学	理 学 系 研 究 科 地 球 惑 星 科 学 専 攻
		教 授（兼）太 田 邦 史	分 子 細 胞 生 物 学 ・ 構 成 生 物 学	総 合 文 化 研 究 科
		教 授（兼）大 杉 美 穂	分 子 生 物 学 ・ 発 生 細 胞 生 物 学	〃
		教 授（兼）坪 井 貴 司	分 子 細 胞 生 理 学 ・ 神 經 科 学	〃
		准教授（兼）若 杉 桂 輔	分 子 生 命 科 学	〃
		教 授（兼）道 上 達 男	分 子 発 生 生 物 学	〃
		教 授（兼）渡 邊 雄 一 郎	植 物 環 境 応 答 学 ・ ウ イ ル ス 学	〃
		教 授（兼）和 田 元	植 物 細 胞 機 能 学	〃
		教 授（兼）佐 藤 健	生 化 学 ・ 細 胞 生 物 学	〃
	准教授（兼）阿 部 光 知	植 物 分 子 遺 伝 学	〃	
	教 授（兼）増 田 建	植 物 分 子 生 物 学 ・ 葉 緑 体 色 素 の 分 子 生 理 学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教 授（兼）澤 井 哲	システム生物学・物理生物学	総合文化研究科
		准教授（兼）尾 田 正 二	生 殖 生 物 学	新領域創成科学研究科
		教授（兼）大 矢 禎 一	生 命 応 答 シ ス テ ム	〃
		教授（兼）藤 原 晴 彦	昆 虫 分 子 生 物 学	〃
		准教授（兼）小 嶋 徹 也	昆 虫 分 子 進 化 発 生 学	〃
		教授（兼）小 島 茂 明	分 子 海 洋 生 態 学 ・ 分 子 系 統 学	〃

【生物科学専攻 注意事項】

※は今年度博士課程の学生を受け入れない教員